

2024年度 指導医申請のご案内 (更新)

I. 乳腺指導医更新申請資格

- ・本学会指導医であること
 - ・会費を完納していること
 - ・乳腺外科カリキュラムの基幹・連携施設（以下、基幹・連携施設）もしくは本学会が認定した認定・関連施設に常勤で勤務し、乳腺診療に従事していること
 - ・専攻医（専門医を目指している者）を指導した実績があること
 - ・2018年8月～2023年7月末までの乳癌経験症例が100例以上あること
※修練施設ごとに病院長の証明(捺印)が必要
 - ・乳腺疾患に関する研究業績が8点以上、研修実績が30点以上あること
※乳腺専門医の資格有効期間が20年以上の場合、診療経験の詳細目録の提出は免除する
- 指導医の更新申請を行う場合、専門医の更新申請は免除される
- 所属施設の認定等で指導医の更新が出来ない場合でも、専門医として更新を認める場合がある

II. 申請期間

2023年5月1日～2023年8月31日 23:59

申請書類はデータにてご提出していただくこととなりました。郵送での申請を希望される場合は別途手数料 5,000 円が必要となります。詳細は V.提出方法にてご確認ください。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕を以て申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

III. 申請書類

作成にあたっての注意事項

- ・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります
- ・手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法から1つ選択する
- ・旧書式による申請書類は受付けません、最新版をダウンロードしてください
- ・記入欄が不足している場合は、適宜追加してください
- ・必ず手元に申請書類の副本を保管してください
事務局より、申請書類について問い合わせをする可能性があります
- ・Excelのまま提出するものとPDFにして提出するものがあります (IX.参照)
いずれもIXチェックリストにあるファイル名にして提出してください

① 乳腺指導医(更新)申請書

② 実績目録

③ 指導実績

④ 研究業績一覧

- ・ 2019年1月～2023年8月末までの乳腺疾患に関する研究業績が8点以上あること
- ・ 査読のある全国規模の学会（日本乳癌学会地方会は可とする）、学術誌、医学誌であること（病院誌・商業誌不可）
- ・ 以下のような証拠となる業績のコピーを添付し、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと

【論文】

- ・ 論文の題名・所属・発表者名・要旨の記載されているページ
（但し、論文要旨の項目がない場合は、論文全ページ）
掲載予定の論文は掲載証明書と論文原稿の提出があれば認める

【学会発表】

- ・ 発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙か会期がわかるページと抄録
- ・ 過去の乳癌学会学術総会の抄録については、会員専用ページにて閲覧可能

研究業績点数表

	欧文 論文	和文 論文	国際学会 日本乳癌学会	国内学会	日本乳癌学会地方会 乳腺関連研究会
筆頭	10	6	4	3	2
共同	3	2	1	1	1

⑤ 研修実績一覧

- ・ 2019年1月～2023年8月末までの乳腺に関する学会・研究会・セミナーに参加した研修実績が30点以上あること
- ・ 上記の内、日本乳癌学会学術総会に参加した研修実績が3回以上あること（但し今年度は移行期の為、参加回数0～2でも可）
- ・ 参加した証明として、参加証・終了証を添付すること
日本外科学会等の学会参加情報の照会ページPDFの添付でも可
※参加証・終了証には氏名を記載し、研修実績一覧と同様の番号を振ること

研修実績点数表

日本乳癌学会				その他学会		
学術総会	専門医 セミナー	地方会	教育 セミナー *1	国際 学会	国内 学会	乳腺関連研究会 乳腺関連講習会*2
6	4	2	1 or 2	4	3	2

*1 受講証記載の点数による。但し、記載のないものは1点とする。

*2 マネジメント講習会、超音波講習会、JOHBOC セミナーなど適切なプログラムが組み込まれていること

その他学会については、原則的に全国規模の学会・研究会とする。

それ以外のものは、認定委員会の判断による。

⑥ 基幹・連携施設/認定・関連施設常勤勤務証明書

⑦ 診療経験目録

- ・ 2018年8月～2023年7月末までの乳癌の確定診断のついた症例のみ記載すること（良性・疑いは不可）
- ・ 手術療法（術者・助手含む）、画像診断、放射線治療、薬物療法、何れかの領域における100例以上の診療経験を記載
 - ※ 主領域で50例以上ある場合は他領域との混合も可
 - ※ 診療経験目録に他領域の診療経験を記載すること
- ・ 画像診断、放射線治療、薬物療法を主領域として選択した場合は、症例記録30例と診療経験目録70例を提出すること

各診療領域の条件については、以下の通り定める

【手術療法】

- ・ NCD 検索システムより抽出した症例数を修練した施設ごとに記載する
- ・ NCD 登録が条件のため、2023年7月末までの症例をNCD検索システムより施設・術式ごとに抽出したリストを提出する（但し、NCD リストは全体から130例程度の抜粋でよい）
 - また、2023年1月以降のNCD未承認症例も、診療経験目録に病院長による証明があれば症例に含めてよい

【画像診断】

- ・ 乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名の記載が必須
- ・ 診療経験目録には、初診年月・診断手技・病理組織診断名を必ず記入する
- ・ 経験症例には、組織診断による癌の診断確定を得ていることが必要（細胞診による診断は不可）

*申請者自らが針生検などにより病理組織診断が行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”をフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します

- ・ 再発・転移に対する診断は認めない

【放射線治療】

- ・ 乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月・原発、再発/転移・病理組織診断名・術式・照射部位・照射期間・照射線量の記載が必須
- ・ 診療経験目録には、施行期間・原発、再発/転移・病理組織診断名・術式・照射部位・照射線量を記入すること

【薬物療法】

- ・ 乳癌症例記録には、初診年月・病理組織診断名・HR・HER2・治療ライン（術前/術後/進行転移再発）・薬剤名・投与期間の記載は必須。この症例記録では、転移再発症例での治療経験を 30 例中 15 例以上提出すること
- ・ 診療経験目録には、施行年月・治療ライン（術前/術後/進行転移再発）・病理組織診断名・HR・HER2・レジメン・薬剤名を記入すること。転移再発症例での治療経験を含めて提出すること。(転移再発症例は症例記録、診療目録合わせて 100 例中 30 例以上あることが望ましい)
- ・ 周術期薬物療法の症例は、殺細胞性抗癌薬に限る。(ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可) また、初回投与開始症例のみに限る。
- ・ 転移再発症例は、初回投与に限らず提出可能であるが、同一患者で提出可能なのは 1 レジメンまでとする。(同一患者において治療の継続やレジメンの変更で提出することは不可) レジメンは転移再発乳癌に保険適用となっている治療法であれば、その種類を問わず申請可能である。(殺細胞抗癌薬のみに限定しない) 臨床試験や治験症例であれば保険適用外例も可とする。

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・ 申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること
- ・ 施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつぎ合わせ確認が出来るようにしておくこと

IV.申請手数料について

申請手数料：10,000 円

【郵便局からのお振込】

口座記号番号：00170-5-404708

加入者名：日本乳癌学会専門医制度委員会

【銀行、ネットバンキングからのお振込】

銀行 支店：ゆうちょ銀行 019 (ゼロイチキュウ) 支店

預金種：当座預金

口座番号：0404708

名義人名：日本乳癌学会専門医制度委員会

申請前に必ず申請手数料のご入金をお願いいたします

※振込の際、可能であれば通信欄に「指導医更新申請料」とご記入ください

なお、既納の申請手数料は、いかなる理由があっても返却いたしません

V.提出方法

zip ファイルにして、以下のサーバーにアップロードしてください。

<https://jbcs.xdrive.jp/index.php/s/5eLfMwiB2sg4Yg6>

詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい

Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますので、IX. チェックリストにてご確認ください

申請書類と申請料の入金確認が完了次第、受領メールを送信いたします

申請時期により、確認に2週間程度かかる場合もありますので、ご了承ください

<データでの提出が難しい場合>

データでの提出がどうしても難しい場合は、郵送での提出を受付けます

郵送で提出する場合は別途 5,000 円の手数料が必要となりますので、申請料 15,000 円（申請料 10,000 円+手数料 5,000 円）をご入金いただき、配達記録が残る簡易書留、レターパック等で事務局宛お送りください（2023 年 8 月 31 日必着）

郵送にて提出される場合は一部を郵送ではなく、全ての申請書類を郵送でお送りください。

〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F

日本乳癌学会 宛

VI.書類審査結果について

合否通知は申請書に記載いただいた送付先に郵送いたします

合格者には認定料(10,000 円)の納付が確認でき次第、認定証を発送いたします

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください

VIII.COVID-19 による診療縮小への配慮

COVID-19 に伴う診療縮小による症例数への影響が生じた場合、その申告があれば、前年度、前々年度の実績を参考に、1年の資格延長をお認めする可能性があります。研究業績、研修実績への影響も申告状況に応じて1年の資格延長の妥当性を審査いたします。

※締切りを過ぎての申告は受理いたしませんので、ご注意ください。

<提出書類>

■症例数への影響が生じた場合

- ・通常通りの申請書類一式
- ・申立書（フォーマット自由）
- ・前年度前々年度（2016年、2017年）の症例記録（手術療法の場合 NCD 検索リスト添付）

■業績への影響が生じた場合

- ・通常通りの申請書類一式
- ・申立書（フォーマット自由）
- ・前年度前々年度（2017年、2018年）の業績一覧（抄録の PDF など添付）

IX.チェックリスト

	申請書No	申請書名	提出形式	ファイル名	備考
<input type="checkbox"/>	①	乳腺指導医(更新)申請書	Excel のまま	sdk_申請者名	申請書フォームの必要箇所にご入力いただきそのまま提出してください。⑥以降はPDFで提出ですが、削除せずそのまま提出してください。
<input type="checkbox"/>	②	実績目録			
	③	指導実績			
<input type="checkbox"/>	④-1	研究業績一覧(論文)			
	④-2	研究業績一覧(発表)			
<input type="checkbox"/>	⑤	研修実績一覧			
<input type="checkbox"/>	⑥	基幹・連携施設/認定・関連施設常勤勤務証明書	PDF(公印をもらった後)	sdk_6_申請者名	
<input type="checkbox"/>	⑦-1	診療経験目録(症例記録)	PDF(公印をもらった後)	sdk_7_申請者名	手術療法の場合、7-②の提出は不要です 複数ある場合は続けてひとつのPDFにおまとめください。
<input type="checkbox"/>	⑦-2	診療経験目録			
<input type="checkbox"/>	添付書類	NCD 検索リスト	PDF	sdk_ncd_申請者名	手術療法にて申請の場合のみ 続けてひとつのPDFにおまとめください
<input type="checkbox"/>		論文	PDF	sdk_論文_申請者名	④の添付資料として 複数ある場合、論文で一つのPDFにおまとめください
<input type="checkbox"/>		学会発表等の抄録	PDF	sdk_発表_申請者名	④の添付資料として 複数ある場合、発表で一つのPDFにおまとめください
<input type="checkbox"/>		参加証・修了証	PDF	sdk_参加証_申請者名	⑤の添付資料として 複数ある場合、一つのPDFにおまとめください ※日本外科学会等の学会参加情報の照会ページPDFの添付でも可

※乳腺指導医認定証の提出は不要です